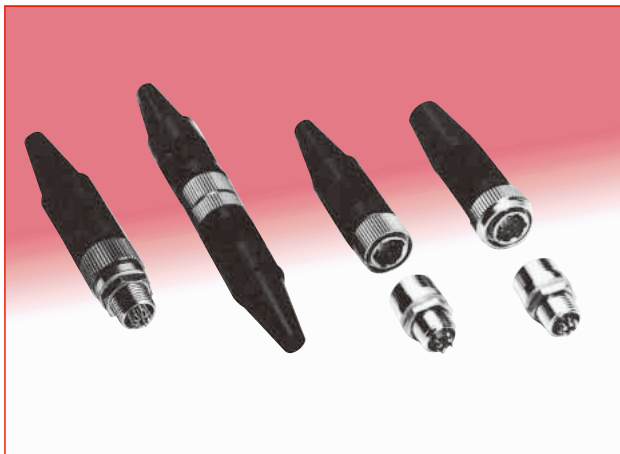


小型電子機器用丸形コネクタ

SR30 シリーズ



■特長

1. 小型・軽量

製品の最大外径がφ15と小型で、無線機などの小型電子機器に最適です。

2. 堅牢性

金属製の外装になっていますので、小型でありながら堅牢です。

3. スマートデザイン

ケーブルの出し口にはプッシングを設けているので、ケーブルが屈曲される使用にも合うデザインとなっています。

4. バリエーション

項目	
極数	4芯、6芯、7芯
コネクタ種別	プラグ、ジャック:ストレート レセプタクル:ストレート
結線タイプ	プラグ、ジャック:はんだ付け レセプタクル:はんだ付け、基板ディップ
レセプタクル取付方式	パネル裏面ナット締め、パネル前面ナット締め(6芯はんだタイプのみ)

■製品規格

定格	定格電流	1 A	使用温度範囲	-10～60℃
	定格電圧	AC100V、DC140V	保存温度範囲	-10～60℃

項目	規格	条件
1. 接触抵抗	10mΩ以下	DC1Aで測定
2. 絶縁抵抗	200MΩ以上	DC100Vで測定
3. 耐電圧	せん絡・絶縁破壊のないこと	AC300Vを1分間
4. 耐振性	10μs以上の電氣的瞬断がないこと	10～55Hz/サイクル、振幅0.75mm、3方向、各2時間試験する。
5. 衝撃	10μs以上の電氣的瞬断がないこと	加速度490m/s ² 、持続時間11ms 3方向、各3回試験する。
6. 繰り返し動作	接触抵抗 15mΩ以下	1000回
7. 温度サイクル	絶縁抵抗 200MΩ以上	-30℃:30分⇒常温:10～15分⇒85℃:30分⇒常温:10～15分、計5サイクル放置する。
8. 耐湿性	絶縁抵抗: 10MΩ以上(高湿時) 100MΩ以上(乾燥時)	温度40℃、湿度90～95%、96時間放置する。

■材質

項目	材質	処理	備考
プラグ ジャック	絶縁物	ポリアセタール樹脂	—
	端子	黄銅またはりん青銅	金めっき
	外装	黄銅または亜鉛ダイカスト	ニッケルめっきまたはクロムめっき
	フード	クロロブレンゴム	—
	クランプ ビス	黄銅 鋼	— ニッケルめっき
レセプタクル	絶縁物	ポリアセタール樹脂	—
	端子	りん青銅	金めっき
	外装	黄銅	クロムめっき
	パッキン	ポリアミド樹脂	—
	ナット	鋼	ニッケルめっき

■ 製品番号の構成

製品番号から製品の仕様をご判断頂く際にご利用下さい。

● コネクタ

SR30 - 10 W P A - 6 P A (71)

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

① 型名: SR30シリーズ
② シェルのサイズ: シェルサイズは、プラグの嵌合部分の外径を表します。
③ 特殊性: 記載なし: 標準形 W: 防滴形
④ シェルの種別 P: プラグ R: レセプタクル J: ジャック
⑤ シェルの変形: コネクタの同じ形態で何種類にも及ぶときは、A、B、Cで区別します。
⑥ 端子の極数: 端子の数を表します。
⑦ 端子の形状 P: 雄端子 S: 雌端子
⑧ 絶縁物または端子の変形: A: 絶縁物材質 フッ素系合成樹脂 E: 端子結線方式 基板ディップタイプ
⑨ その他の仕様: 上記以外で仕様が変更になる場合に2桁の文字を付記します。

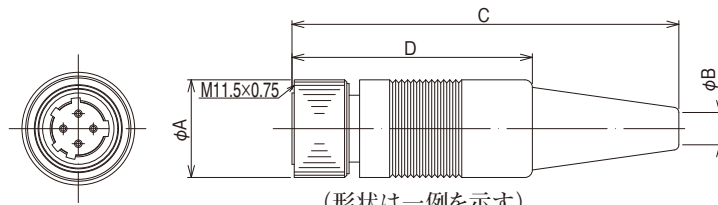
● アクセサリー

SR30 - 10 RC 1 - (71)

① ② ③ ④ ⑤

① 型名: SR30シリーズ
② シェルのサイズ: シェルサイズは、プラグの嵌合部分の外径を表します。
③ アクセサリー名: RC: レセプタクル用キャップ
④ 形状の種別: 形状が何種類にも及ぶときは、数字を付記します。
⑤ その他の仕様: 上記以外で仕様が変更になる場合に2桁の文字を付記します。

■ プラグ



注1) SR30-10PE-6P, SR30-10PX-6Pの製品は、ケーブルをクランプするクランプ金具はついておりませんので、別途SR30-Pをご注文下さい。

注2) 雄端子の溶剤ポット内径は、φ0.8です。

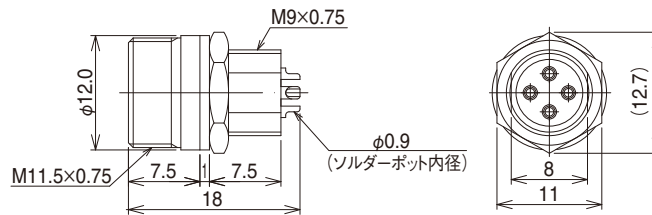
注3) ケーブルの構造によりケーブルクランプ力、ケーブル回転力等が異なりますので事前に確認の上、ご使用下さい。



HRS No.	製品番号	極数	φA	φB	C	D	備考
103-0265-2-71	SR30-10PE-4P (71)	4	13	4.3	51.5	32	————
103-0258-7-74	SR30-10PE-6P (74)	6	13	4.3	51.5	32	注1) 参照
103-0273-0-71	SR30-10PG-6P (71)	6	13	5.2	49.0	31	————
103-0336-9-71	SR30-10PX-6P (71)	6	13	5.7	49.0	—	注1) 参照
103-0319-0-71	SR30-10PF-6P (71)	6	15	5.5	55.0	—	————
103-0316-1-71	SR30-10PF-7P (71)	7	15	5.5	55.0	—	端子は銀めっきのみ
103-0341-9-71	SR30-10PM-4P (71)	4	15	5.7	49.0	—	————
103-0288-8-71	SR30-10PM-6P (71)	6	15	5.7	49.0	—	————
103-0293-8-71	SR30-10PQ-4P (71)	4	15	4.3	57.5	38	止めねじ付
103-0313-3-71	SR30-10PQ-6P (71)	6	15	4.3	57.5	38	止めねじ付
103-0350-0-71	SR30-10WP-6PA (71)	6	15	4.3	51.5	32	防雨形
103-0266-5	SR30-P	クランプ金具		————		————	————

■ レセプタクル (ナット締め方式)

(半田タイプ)

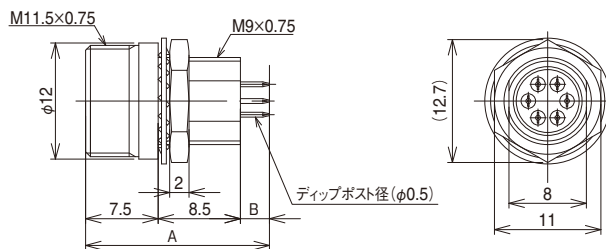


(注1) 防雨形は寸法が一部異なります。

HRS No.	製品番号	極数	備考
103-0264-0-71	SR30-10R-4S (71)	4	————
103-0239-2-71	SR30-10R-6S (71)	6	————
103-0317-4-71	SR30-10R-7S (71)	7	端子は銀めっき
103-0349-0-71	SR30-10WR-6SA (71)	6	防雨形

(備考) 取付パネル厚さは、5mm以下でご使用下さい。

(ディップタイプ)

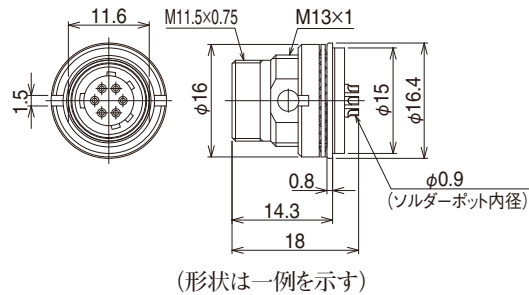


HRS No.	製品番号	極数	A	B	備考
103-0356-6-71	SR30-10RA-4SE (71)	4	19	3	端子は銀めっき
103-0326-5-72	SR30-10RA-6SE (72)	6	19	3	————
103-0327-8-71	SR30-10RA-7SE (71)	7	19	3	端子は銀めっき

(備考) 取付パネル厚さは、5mm以下でご使用下さい。

■レセプタクル (パネル表面からのナット締め方式)

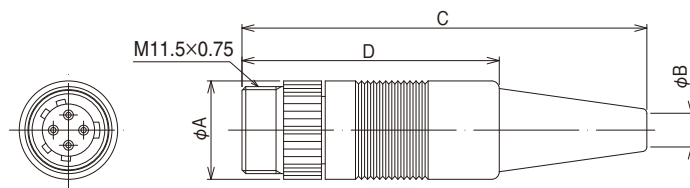
(半田タイプ)



HRS No.	製品番号	極数
103-0302-7-71	SR30-10RD-6S(71)	6

(備考) 取付パネル厚さは、3mm以下でご使用下さい。

■ジャック



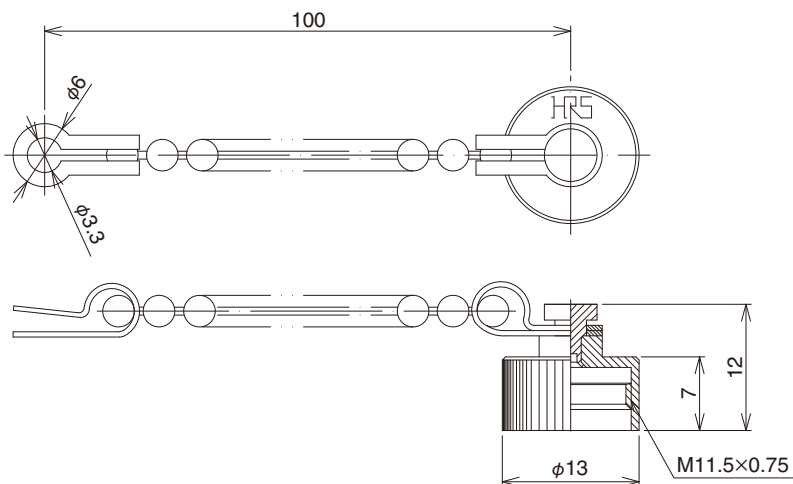
注1) SR30-10JE-6Sの製品は、ケーブルをクランプするクランプ金具はついておりませんので、別途にSR30-P (CL103-0266-5)をご注文下さい。

注2) 雄端子のソルダーポット内径はφ0.9です。

注3) ケーブルの構造によりケーブルクランプ力、ケーブル回転力等が異なりますので、事前に確認の上ご使用願います。

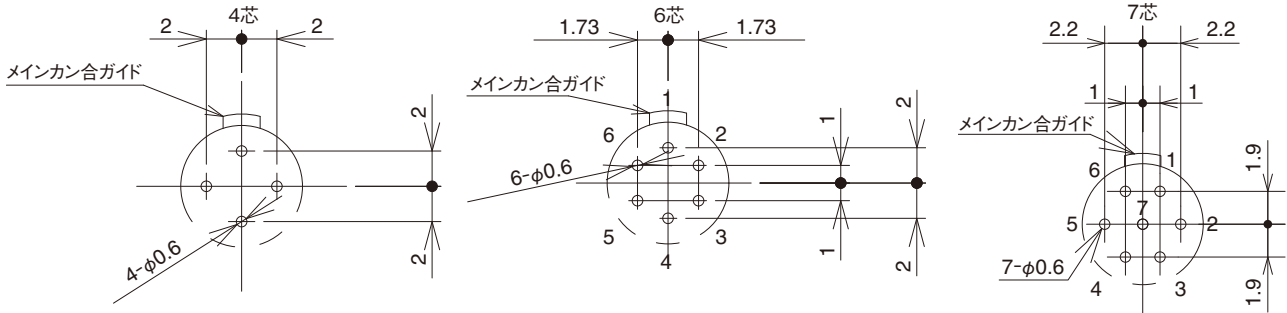
HRS No.	製品番号	極数	φA	φB	C	D	備考
103-0301-4-71	SR30-10JE-4S(71)	4	13	4.3	53.5	34	—
103-0259-0-72	SR30-10JE-6S(72)	6	13	4.3	53.5	34	注1)
103-0292-5-71	SR30-10JM-6S(71)	6	13	5.7	51	—	—
103-0330-2-71	SR30-10JF-7S(71)	7	13	5.5	57	—	端子は銀めっき

■キャップ



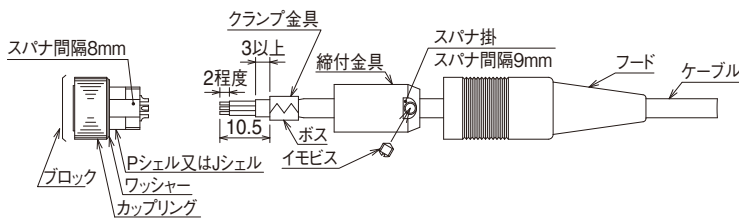
HRS No.	製品番号	備考
103-0344-7-71	SR30-10RC1(71)	—

◆レセプタクルディップポスト配列寸法



- 備考 1.図はレセプタクルの嵌合面側から見た状態です。
2.ディップポスト配列寸法の加工公差は、±0.05を推奨します。

◆参考結線作業要領(プラグ及びジャック側)



尚、ご使用の詳細については、営業または技術へお問い合わせ下さい。

○順序

- 1.ケーブルは仕上り外径 $\phi 4.2 \sim \phi 4.8$ で導体公称断面積 0.3mm^2 のものを使用。
- 2.ケーブルに、フード、縮付金具の順に通し、端末は下図の如く寸法程度で切断。
- 3.ブロックを結線用治具に挿入し、半田結線を行なう。
- 4.ケーブルにクランプ金具 (CL103-0266-5、SR30-P)を圧着工具 (SR30-10PE-T)にて数回かきめ外径が $\phi 5.2$ 程度になる様にする。
- 5.結線後ブロック (Pシェル・Jシェル)のネジ部に、縮付金具を約 $2\text{N}\cdot\text{m}$ ($20\text{kg}\cdot\text{cm}$)位の単能型トルクレンチにて締込む。尚、ジャック側の縮付けの際は、必ず、Jシェルのスパナ掛け部を固定して行って下さい。
- 6.クランプ金具の2カ所のボスの一方へ、イモビスの先端が落ち込むよう $0.1\text{N}\cdot\text{m}$ ($0.1\text{kg}\cdot\text{cm}$)位にてネジ込み、クランプ金具を固定する。
- 7.フードを縮付金具の上にかぶせ作業が完了となる。(尚、ネジ部にはゆるみ止めのため、ロックペイント等を塗布して下さい。)



結線用治具



圧着工具 (適合ケーブル径 $\phi 4.2 \sim \phi 4.8$ 用)
(ハンドル部形状は一例を示す。)



圧着工具 (適合ケーブル径 $\phi 6$ 用)
(ハンドル部形状は一例を示す。)



英知をつなげる
エレクトロニクスの会社

ヒロセ電機株式会社

営業本部 神奈川県横浜市都筑区中川中央2丁目6番3号
電話 045 - 620 - 3491 (代表)